

クジラのヒゲの活用法にアイディア続々
京都府井出町もクジラで町おこしを狙う

かつての日本では、クジラは単なる食肉としてだけではなく、骨や脂肪、皮など、あらゆる部分を有効に活用していた。ところが商業捕鯨の全面禁止後、クジラは産業界からすっかり忘れ去られてしまっている。そんな今、シロナガスクジラなどのヒゲクジラのヒゲが大量に在庫していたことがわかった。大阪府富田林の某地にはなんと数十万枚、百トン以上にもなるヒゲが残されているとか。それが新聞で報道されたところ、クジラのヒゲを活用したいという問い合わせが殺到した。そのひとりが京都府井出町の不動産業者。かつて竹材産産が盛んだった井出町にヒゲ製品の生産拠点を置き、お年寄りの技術を活かしつつ町おこしを狙うというもの。クジラのヒゲは防虫対策さえすれば数百年も劣化せず、耐久性にも優れた素材。かつては日本人も人形浄瑠璃の部品や釣竿など、さまざまなものに活用されてきた。今では自動車のエアフィルターに使いたいという声もある。ここでクジラのヒゲがエコ素材として注目されたら、捕鯨を違える視点で見つめ、語り合うことができると思うのだが。

一番新しい日本の一ページ

いまだどきどきの歴史

経済制裁

制裁も支援も通じぬ北朝鮮政府に対して
やっぱりとことん直接対話を重ねるべき

こんな経済制裁は
どうだろう？



將軍様の好物

「〇王」出荷差し止め!!

北朝鮮による拉致事件がなかなか解決の方向へ進まない。拉致事件が頻発する日本海に面した京都でもこの事件に対する関心が高い。が、横田めぐみさんの遺骨として北朝鮮政府から渡されたものが、DNA鑑定により偽物とわかった。さらには渡された写真にも偽造疑惑が浮上。これを受けて、北朝鮮に経済制裁を加えることを望む声が一層大きくなった。しかし、北朝鮮は金正日を中心とした一部の権力者による独裁国家。経済支援しようと、経済制裁を加えようと、日本政府が望む形で機能しない。例えば食料などの支援物資を送れば、一部の権力者やヤミ市に回るだけ。経済制裁を加えれば、北朝鮮の庶民の生活に必要な資源が真っ先に削られる。つまり、いつも最初に苦しむのは一般庶民となるわけだ。これが日本政府が経済制裁発動に対して慎重になっている理由。両政府の直接対話がなかなか実現しない厳しい現状だが、やはりこれにまざる決定的な案もないと思うのだが…

クジラの筋が
ガットに
使われていたことは
この世代の選手は
もはや
知らないのかな？



'87年生まれ
弱冠17歳!!

2025年携帯電話に
A.I.導入!!



自律思考型ケータイ

携帯と犯罪

プライバシーと犯罪抑止、どちらを優先？
いや、両方を尊重する携帯は実現可能だ

詐欺などの犯罪に利用されやすいという理由で、プライベート携帯の廃止が検討されているが、奈良で発生した女児誘拐殺人事件では、犯人が被害者の携帯を使って関係者を誘発することが起こった。現在、携帯電話にはGPSが内蔵されていて、おおよその発信位置が特定できるようになっているが、今回の事件では警察がGPSの追跡に失敗。犯人がGPSを解除している可能性が高い。GPSはプライバシーに関わるとあって、メーカーやキャリアは機能強化に消極的。しかし、子どもの位置を把握したり、犯罪を追跡するには欠かせない機能だ。一般の携帯は本人のみがGPS解除できるようにし、プライベート携帯はGPS解除不可にするとか、犯罪を未然に防ぐためのシステムを確立させて欲しい。犯罪抑止を理由にプライベートを廃止するのではなく、プライバシーを尊重しつつ、犯罪に利用されないようにすれば良い。京都でも多くの外国人がプライベート携帯を利用していることだし。



文◎大塚 祐希

京都で活動するライター集団・大塚祐希事務所CEO。昨年のイスラエル海を以て、異文化を紹介するTEXTREAM PROJECTを始動。20カ国に及ぶ人とネットワークを構築し、ボーダレスな活躍を目指す。
HP●<http://www1.ocn.ne.jp/~tsukapon/>



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。北山のオフィスにて様々なキャラクターやイラスト制作をおこなうユニット「キョトル・イラストレーション」のチーフ。猫、フランス車、家具、雑貨、レコード、本、おもちゃ、平日の公開。それらがイラストを構成するエッセンスである。HP●<http://www.d1.dion.ne.jp/~ryoguchi>